

お客様とともに (納入実績)

住江織物グループでは、お客様とともに、一般生活者の方々に快適な空間をお届けいたします。

インテリア関連納入実績

金沢の奥座敷 湯涌温泉 湯の出旅館



ロビー



廊下

階段

金沢の奥座敷 湯涌温泉 湯の出旅館は、718(養老2)年に紙漉き職人が泉で1羽の白鷺が身を浸しているのを見て近づいてみると、湯が湧き出ているのを発見。これが当温泉の発見および当温泉名の由来とされています。

建物は安土桃山時代から続く伝統的な日本の建築様式の一つである「数寄屋造り」で、茶人たちが格式張った意匠や装飾をきらい「好みに任せて作った家」を指し、軽妙洒落な数寄屋造りが好まれたと伝えられています。

今回はそのロビーと廊下、階段を中心に弊社の別注アキスミンスターカーペット*をご採用いただきました。ダイナミックに弧を描くモダンなデザインながらも、ゆったりとくつろげる空間を意識したデザインです。

豊かな温泉と伝統的な建物にマッチしたカーペットを末永くお使いいただければと思います。

*アキスミンスターカーペット：カーペットの一種で、一本一本適当な長さに切断したパイルをU形に挿入した形で織ったもの。多彩で複雑な模様織りが特徴。



建物外観

産業資材関連納入実績

日産自動車(株) LEAF(リーフ)

電気自動車の分野において高い開発力を誇る日産自動車(株)は、2010年量産型EVとして登場したLEAFよりバッテリー容量を大幅に高めJ08モードの満充電航続距離を400kmへと拡大した新型LEAFを発売いたしました(日本2017年10月～、米国・欧州など海外は2018年1月～)。

日本自動車殿堂2017～2018カーテクノロジーオブザイヤーに日産LEAF搭載技術が選定され、米国では

CES2018ベストオブイノベーションアワードを受賞。また、性能だけでなく内外装デザインのスタイリッシュさと高級感も大きく向上しております。カラーデザインにおいても強いこだわりがあり、外装のカラーバリエーションは全14種類(内6種類は2トーン)という豊かさです。シート表皮材は、G/X/S各グレードに当社製品をご採用いただきました(G/XグレードにはバイオPET糸を使用した織物を納入しております)。



〈営業担当者の想い〉
(株)スミノエ
金沢営業所 所長
宮下 繁正

地域でも伝統的で風情のある「湯の出旅館」のカーペット張り替えに携わらせていただきました。

今回のリニューアルにあたり、同業他社メーカーが先行する中、取引先の販売店様が弊社の過去の納入実績による信頼のもとに強く推薦していただき、デザイン事務所様と打合せに入ることができました。施工日も決定し納期まで時間がない中で「風情のある建物のイメージを大切にしながら、現代の観光施設にふさわしいデザインにして欲しい」という施主様のご要望のもと何度も打合せを重ね、メーカーとしての当社を印象付けることができました物件になったのではと思います。納入後も施主様にはご満足いただいております、大変嬉しく思っております。

〈デザイン担当者の想い〉
(株)スミノエ
デザイン部
近森 恵里花

黒からグレー色の組み合わせを駆使した、大きな円弧がランダムに配置されたデザインは、旅館には少々モダンすぎるのではと思っていましたが、施主様や設計デザイナー様のご意見に沿う形で無事納めることができ安心いたしました。

非常に厳しい納期スケジュールであったこと、また初めてご一緒させていただいた設計デザイナー様であったため、デザインの細かい点(円弧のラインの太さやグラデーションのかかり具合、廊下に対しての円の配置バランスなど)を一つひとつ確認しながら、何度も打合せを重ねていきました。

普段はカーペットのデザインをされないお客様に対して、どのようにデザインの説明をするべきなのか、お客様の立場になって考え、一緒に創り上げていったという達成感のある物件となりました。

〈営業担当者の想い〉
スミノエ テイジン テクノ(株)
第二営業部
脇野 裕司

日産LEAFは100%電気自動車のZERO EMISSIONを謳う車種ということもあり、インテリアも環境に配慮したものとなりました。

内装クロスは、バイオPET(バイオ糸)を使用しており、メイン材の織物については緯糸全てに、そしてサイド材のトリコットは100%バイオ糸を使用した作りとなっております。意匠は多色使いの緻密なボーダー柄織物と風合いの良い無地トリコットの組み合わせが高評価を受けました。

LEAFは日本、米国、英国とグローバル3拠点にて車両製造されることもあり、海外へのデリバリールート構築やクロス現地化など、難題も多くありましたが、関係各位のご協力により無事立上げることが出来ました。皆様にご感謝申し上げます。

〈設計担当者の想い〉
スミノエ テイジン テクノ(株)
開発センター 設計開発部
永井 元美

2代目・日産LEAFシート生地設計を担当しました。次世代のエコカラー・EVカラー表現をColor Design Conceptとして2013年夏から開発スタート。全世界を駆け巡る車として相応しいコーディネートで、多色使いグラデーションと、緯糸にはバイオ糸を使用、アクセント色・BLUEを利かせた織物になっています。

意匠決定までは、色へのこだわりや配色バランスが難しく、耐久試験や生産性・品質確認を繰り返し、各部署協力のもと約4年かけて2017年春に量産化できました。

日本はもちろん、米国、欧州に届けることができ、嬉しく思います。

■ 社会性

お客様とともに (納入実績)

車両関連納入実績

小田急電鉄(株) 特急ロマンスカー・GSE(70000形)



小田急電鉄(株)は「箱根につづく時間(とき)を優雅に走るロマンスカー」というコンセプトのもとに開発された「ロマンスカー・GSE(70000形)」を、2018年3月17日より営業運転しております。

GSEとは、「Graceful Super Express」の略で、「優雅な」という意味を持つ「Graceful」を用いて名付けられました。

最大の魅力は、車内からのダイナミックな眺望です。ロマンスカーの象徴である展望席は、前面窓に大型の1枚

ガラスを使用しているほか、先頭車両は荷棚を無くすことでよりダイナミックな眺望と開放的な空間を創出しています。さらに、車体側面には高さ1mの連続窓が使用されており、どの座席からでも沿線の風景を存分に楽しむことができます。

当社の製品はインクジェットプリントモケットのシート表皮とロールカーテン、ウィルトンカーペット、枕カバー、暖簾が採用されております。



〈営業担当者の想い〉
東日本車両営業部
東京車両営業グループ
奥田 祥人

小田急電鉄(株)様の代名詞とも言えるロマンスカーの受注に向けて、社内一丸となって開発をスタートしました。なかでも一番苦労したのはシート表皮の開発です。お客様のご意向を最大限にアウトプットしたく、インクジェットプリントの特性を活かし何度も試作・提案を繰り返しました。シート表皮のみならず、多くの担当者の想いが詰まった内装をご提案でき、求められる車内空間造りの一助になれたと思います。

引き続き当社の強みでもある内装材のトータルコーディネート提案で、魅力的な商品を提供したいです。

箱根へ旅行に行く際は車内からの景色を堪能し、「優雅な」時間を楽しみたいと思います。

〈デザイン設計者様からのコメント〉
岡部憲明 アーキテクチャーネットワーク様

新型ロマンスカー70000形GSEではプロジェクトを御一緒したことのある岡崎乾二郎氏(造形作家・批評家)に椅子張地のデザインを依頼しました。

風景の中を駆け抜ける列車の座席として、時間と空間の多層的な重なりをコンセプトに二席合わせて一柄という今までに無いアイデアとビビットな色調の提案を頂きました。

縫製においては柄あわせが必要で大変苦労しましたが、実際に乗車してみるとお客様の装いと相まって我々のデザインに溶け込み、さらに新機軸の詰まった座席にふさわしい新しいデザインだと感じています。

機能資材関連納入実績

近畿大学共同開発! 会食のお供に「柿ダノミ」

柿ダノミは、奈良県産柿から特許製法により抽出した柿渋を使ったサプリメントです。当社テクニカルセンターでは、奈良県農業研究開発センター他と奈良式柿渋の機能性(消臭・抗アレルギー)について共同研究を行っていた経緯があります。食品原料などの展開を行っていた当部署とテクニカルセンターの連携により、製品の開発をスタートいたしました。

平成28年度奈良県「高付加価値獲得支援補助金ご当地食品開発事業」にご採択いただき、「アルコール代謝

促進作用(悪酔い抑制効果)」に関するヒト臨床試験を実施し、「効果」(※自覚アンケート結果から、飲酒後の「だるさ」および「胃のむかつき」などに有意な差を確認)と「安全性」を確認しております。

また、製品の製造管理から品質管理まで、健康食品GMP認定を受けた工場が徹底マネジメントしております。持ち運びに便利な個包・タブレットタイプの商品です。近畿大学農学部との共同開発により生まれた柿ダノミは、会食の多い方・やっぱり飲みたい方におススメです。



〈営業担当者の想い〉
住江織物(株)
新規事業推進統括室
大槻 裕規

柿ダノミは、当社ブランドとして初となる健康食品です。製品形状の決定やオンラインショップ立ち上げなど、一から作り上げていくことの難しさを痛感いたしました。販路開拓においても思うように進まず、苦しい時期もありましたが、柿ダノミの良さをご理解いただき応援してくださる方々のお力添えもあり、奈良県を中心にドラッグストア、物産展、飲食店などで展開が開始され、現在では近畿圏・首都圏と展開エリアも広がっております。店頭で商品を見た時の喜びはこの上ないものでした。

今後も柿ダノミファンを増やし、長く愛され続ける商品へと育てていきたいと思っております。また食品事業拡大に向け、第2・第3の新商品開発を目指してまいります。



〈共同研究開発者様からのコメント〉
近畿大学 農学部
食品栄養学科 栄養機能学研究室
(近畿大学アグリ技術革新研究所 兼務)
米谷 俊 教授

当研究室では、奈良の特産品「柿」に豊富に含まれるポリフェノール(タンニン)の血糖値上昇抑制作用について研究し、2000万人の糖尿病患者およびその予備軍の食後血糖値の改善に貢献したいと考えています。住江織物(株)さんの「衣食住」それぞれでアメニティを提供したいとお考えに共感し、「食」の分野で共同研究させていただいております。

現在、その実用化に向けて進めていますが、その過程で柿ポリフェノールに悪酔い抑制作用があるというエビデンスを得ることができ、まず「柿ダノミ」を製品化することができました。親密な共同研究体制を作っていたおかげで、迅速な実用化ができ感謝しています。

従業員とともに

住江織物グループは、企業の持続的成長の源泉は人材であり、一人ひとりが能力を最大限発揮し成長することが重要と考えております。性別・年齢・国籍を超えて多様な人材がいきいきと活躍できる環境をつくっていくことを大切に取り組んでおります。

多様性の尊重

● 新卒採用者数

当社国内グループの2018年4月新卒入社者は41名で、女性比率は48.8%、過去3年の女性比率は40.8%となっております。※新卒採用実績：住江織物(株)、(株)スミノエ、ルノン(株)、住江物流(株)、丹後テクスタイル(株)、住江テクノ(株)、尾張整染(株)

		2016年4月	2017年4月	2018年4月
新卒採用者数	男性	13	24	21
	女性	8	12	20

● 育児・介護について

出産・育児・介護による退職を防ぎ、仕事と家庭を両立させることで安心して働けるように、国内グループ各社において支援制度の拡充を進めるとともに、その制度を利用しやすい環境づくりに取り組んでおります。

■ 人事・労務に関する主な実績データの推移(国内グループ)

		2015年度	2016年度	2017年度
育児休業関係※	育児休業 取得者数	5	8	9
	育児休業 復帰者数	7	6	8
	短時間勤務 取得者数	13	3	10
	始業・終業時刻の繰り上げ・繰り下げ 取得者数	6	3	1
介護休業関係※	介護休業 取得者数	0	0	0
	短時間勤務 取得者数	1	1	0

※各年度5月末時点の実績
(2017年度より取得(復職)したタイミングでカウント)

人材育成(研修体系・実績)

研修体系は、階層別、役割別、選択型に区分けし、様々なカリキュラムを用意しております。例えば、階層別研修の若手社員については、入社から3年間、各年次で研修を開催しており、新入社員研修後は2年目・3年目に集合研修を行っております。

2018年度の3年次研修では、「モチベーションマネジメントと役割認識」というテーマで、入社してからこれまでを振り返り、出来るようになったことや現状の課題を整理することで、モチベーションをコントロールできるようになること、また周囲からの期待を認識し、3年次の社員として自身が取り組んでいく目標を設定するという内容で実施いたしました。国内グループ会社合同で研修を実施することによって、グループ社員同士の交流の場にもなっております。



3年次研修

■ 研修受講者の実績(2017年度)

研修体系		計	男性	女性
階層別、役割別 選択型 (スキルアップ)	集合研修	173	139	34
	選択型 (自己啓発)			
	通信教育	98	59	39
	語学研修	13	9	4

〈3年次研修に参加して〉

3年次研修を受けるにあたり、自分自身を客観的に見つめ直し、今後のキャリアについて考える良い機会にしたいと楽しみにしておりました。

研修では様々な演習、意見交換を通して自分が日頃の仕事において気をつけていること、また気をつけなければならないことを再認識でき、今後仕事でどのように活躍していきたいのかを深く考えることが出来ました。また、日頃業務であまり接することのないグループ会社や他部署の同期と交流することで、同世代の仲間がどのようなことを考えながら仕事を行っているか知ることができ、良い刺激となりました。

今回の研修で学んだこと、気付けられたことを活かしこれからの仕事に取り組んでいきたいです。

住江織物(株)
機能資材事業部 大阪第2営業部
清水 啓史



労働安全衛生(安全活動の取り組み)

当社グループでは、各事業所において安全衛生委員会(小規模事業所では安全衛生推進者)が主体となって労働災害の撲滅に取り組んでおります。

中央安全衛生部会では、各事業所で実施している「安全衛生に関する提案事例」「現場での注意喚起事例」などの情報の集約および共有を行い、労働災害の未然防止活動を推進いたしました。その結果、休業災害件数は減少いたしました。しかし、不休災害件数および労働災害件数は大幅に増加し、今期目標「休業件数度数率

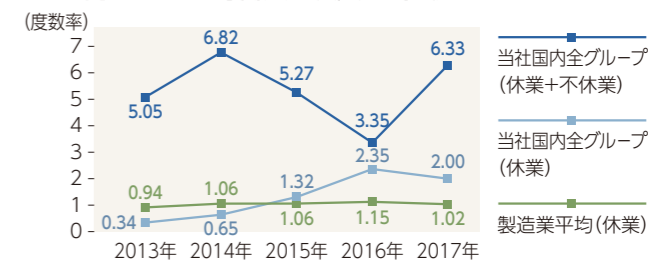


〈住江テクノ(株)奈良工場〉階段の手すりに注意喚起ステッカーを貼付

1.0以下]はクリア出来ませんでした。

今後はリスクアセスメントを行い、労働災害低減措置を各事業所と協議し、リスクの低減および事故再発防止を徹底いたします。

■ 国内グループ 労働災害度数率※推移



出典:厚生労働省「平成29年労働災害動向調査」
※労働災害度数率:100万労働時間あたりの労働災害による死傷者数

労働安全衛生(労働時間管理)

CSR推進委員会のもと設置している人事第1部会では、労働時間の現状把握を定期的実施しており、その結果を踏まえ長時間労働改善の検討を行っております。在社時間が長時間である社員と上司へその理由と改善施策のヒアリングを実施した他、朝礼時にノー残業推進デーの呼びかけを繰り返すことにより、効果が表れてくる

ようになりました。また、働きやすさアンケート(P.22)の内、労働時間に関する回答においても以前より改善されてきたとの結果ができております。

今後は、再発防止プロジェクトによる業務実態の把握や情報基盤の整備と並行して進めることで、根本的な労働時間の改善を行ってまいります。

労働安全衛生(ハラスメント防止)

働きやすい職場環境づくりの一つとして、ハラスメント防止研修を実施しており、3年間で22拠点1,252名が受講いたしました。2017年度は3年間で実施出来なかった少人数の拠点を中心に実施いたしました。

講師より、職場で起こりやすいハラスメント事例や働きやすさアンケート(P.22)の結果報告、相談を受けた時の

対応、被害を受けた時の相談窓口の利用方法などの講義が行われました。研修参加者からは、「ハラスメントの定義がよくわかった」「身近に相談窓口があることがわかったので活用していきたい」などのコメントがありました。

今後も継続して啓発活動を行ってまいります。

未来塾

経営層と若手・中堅社員の語らいの場づくりと視野拡大を目的として希望者を募り、「未来塾」を住江織物(株)本社ビルにて開催いたしました。

第三期となる今回は、社長および取締役より当社グループの現状と今後の事業展開、会計知識についての講義がありました。質疑応答では、参加者が各部門で感じている疑問や悩み、今後のグローバル展開など様々な質問が挙がり、経営層の考えを聞く貴重な時間になりました。

講義終了後は、立食形式での会食が行われ、経営層と参加者が気軽に意見交換をしながら交流を深める有意義な時間になりました。また、グループ会社の社員同士

の交流の場としても良い機会となり、今後も引き続き開催してまいります。



■ 社会性

従業員とともに

女性活躍推進・両立支援

2016年3月に住江織物(株)および(株)スミノエで策定した女性活躍推進計画の進捗をご報告いたします。

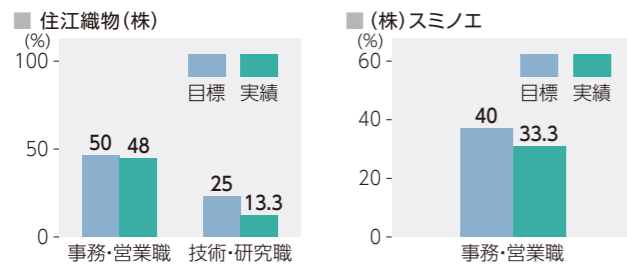
1. 計画期間: 2016年4月1日～2018年5月31日

2. 目標と進捗状況

目標1: 新卒採用における女性採用比率

住江織物(株)…事務・営業職 50%以上、技術・研究職 25%以上
(株)スミノエ…事務・営業職 40%以上

■ 新卒採用(2016年～2018年)



目標2: ライフイベントを経ても継続就業し、かつキャリアアップを狙える仕組みづくり

2016年度より継続就業の支援制度を整えてまいりました。育児休業復帰後も両立して働く社員が年々増えて

きております。次の管理職を狙える中堅以下の層も2年間で徐々に増えてきておりますが、男性社員と比較すると依然として少ないのが現状です。

目標3: 社員意識調査(働きやすさアンケート)の女性活躍に関する設問ポイント0.1Up

残念ながら設問ポイントは年々少しずつ下がってきており、改善されているという印象はありません。

【新たな行動計画】

1. 計画期間: 2018年6月1日～2020年5月31日

2. 目標: 前回の目標を2年間取り組んでまいります。

女性社員の積極的採用、ライフイベントを経ても継続就業が可能な両立支援制度をさらに充実させ、能力発揮・キャリアアップが狙える環境づくりとしては、社員一人ひとりが活躍出来る育成を考えながら取り組みを進めてまいります。

私自身と関わるのが好きなので様々な人と一緒に仕事ができる今の業務が好きです。特に同僚や後輩には積極的に声を掛け、お互いに頼れる関係を築けるように心掛けています。

最近では仕事を任せられたり問合せを受ける機会も増えて頼りにされていることを実感しています。信頼に応えるため、日々努力していくことが原動力になっています。

後輩をリードできる存在を目指して

他社の女性社員が集まる研修に1年間参加しました。そこではキャリアアップを目指す女性や子育てしながら働く女性との意見交換ができ、とても刺激を受けました。これまで「仕事で頼られる人になりたい」と思いモチベーション高く仕事をしてきました。今後はより広い知識を身につけ、女性活躍の先駆けとなって後輩をリードしていけるような存在を目指していきたいです。



女性活躍インタビュー



(株)スミノエ 東日本支社 管理部
山崎 清香

熱意をもって仕事をしていく

私の主な仕事は、営業部門の売上传票と納品書の原価や数量を突合せ、正しく売上処理することです。ミスなく正確にやり遂げ営業部の人から「ありがとう」と言われたときはやりがいを感じる瞬間です。

多くの部署の人と関わる業務のため、積極的に意思疎通を図ることや熱意をもって相手に伝えること、相手の意図を汲み取って少し先のことまで考えることを心掛けています。

扱う製品についての苦労話や本音、こぼれ話まで聞けると楽しいですし、担当者と深い繋がりができているなど嬉しく思います。

信頼を原動力に

売上に関する業務の他にも、新卒の採用や会社行事の受付など総務関連の仕事も幅広くしています。これらを並行して進めるときはスケジュール管理が大変ですが、

シニア社員の活躍



住江物流(株)伊勢原センター
安藤 浩治

1977年 住江神奈川インテリアサービス(現:住江物流(株)伊勢原センター)入社
2006年 住江物流(株)伊勢原センターセンター長
2014年 定年

普段どのような心構えで仕事をしていますか?

現在、インテリア製品の入出荷に関する業務を行っています。注文いただいた物を的確にお客様の元にお届けするため、効率よく正確に業務をこなすことが求められます。

心構えですが、私は現在の住江物流(株)の前身である住江神奈川インテリアサービスの時代から勤めており、本当に色々なことを経験してきました。センター長だったときはセンターの運営を任されていたし、知識はまだまだ若い人に負けたくないという気概で今も仕事をしています。

今後は次の世代を担う人にこれまでの経験やノウハウ、仕事を引き継いでいきたいと考えています。

印象に残っている仕事はありますか?

運送会社とのやりとりがスムーズにできておらず、予定の時刻に現場に物が到着していないとの連絡を受けたことがありました。カーペットの施工は夜間に行われ、職人さんもスタンバイしていて、何となく現場に物を到着させないといけない状況でした。その時は私も一緒になって物を運び、何とか周囲の協力を得て間に合わせる事ができました。無事施工を終わらせることができたときやっと安堵することができ、とても印象に残っています。

会社人生の中でどんなことを感じましたか?

センター長をしていたときは様々なプレッシャーから悩みが尽きない時期もありました。しかし、「何とかできるだろう」と自分の中で踏ん切りをつけたことで前向きになれる、この経験から気持ちの切り替えは仕事をする上で本当に大切だと気がきました。

現在は現役時代と違って良い意味でプレッシャーがなくなって心に余裕ができていて感じています。これまでの自身の経験も活きて、物事をスピーディーに進められるようになりました。また、一緒に仕事をするメンバーと楽しくできるように声を掛けたり、雰囲気づくりを意識するようになりました。

シニアとして働く人へのメッセージ

健康を第一に仕事を続けていくことが大切だと思います。仕事に対する気持ちは同じであっても身体は大切に頑張っていきましょう。

〈同僚からのメッセージ〉

長年にわたってセンター長をされていた経験や知識から様々な面で日々バックアップしていただけており、大変心強い存在です。営業部門出身の私にとって、物流部門の立場としての考え方や仕事の進め方、社員とのコミュニケーションをとりながらセンターをリードしていくことの大切さを教えていただけることは有り難く思っています。

今後も少しでも多くの知識を引き継いでいきたいと思っています。



住江物流(株)
伊勢原センター/稲敷センター
センター長 小木曾 孝司

海外現地社員の紹介



インドネシア:
PT. Sinar Suminoe Indonesia (SSI)



商品管理部

Diana Gunawan

- ① 入社した年 ② 入社した理由
- ③ 仕事内容とおもしろさを感じているところ
- ④ Suminoeのここが好き ⑤ 私の強み
- ⑥ 私を色で表すと ⑦ 地域のおすすめスポット
- ⑧ 好きな食べ物
- ⑨ 私の国で素晴らしい(好きな)ところ
- ⑩ Suminoe グループの社員にひと言

- ① 2012年1月
- ② 大学での専攻とは違う分野でしたが、ファブリックについて学びたいという思いがありました。また、この会社に入社することで私自身にとっても新しいことを取り入れられると思い入社しました。
- ③ 私は商品管理部で顧客からのオーダーに基づき自社と製造会社の間を取り持つ立場にあります。違った個性や視点を持つ2つの部門が協力し合っていくことにおもしろさを感じています。

- ④ 協力し合う文化や職場環境。個人的にも成長でき、互いにサポートする私たちのチームワークはGreat!と感じています。
- ⑤ 正直であること。フレンドリーなところ。仕事に一生懸命打ち込むところ。
- ⑥ 勇敢かつ力強いという意味がある赤色
- ⑦ Tangkuban Perahu Mountain(タンクバンプラフ山)、Pine Forest(パインフォレスト)、Kawah Putih Mountain(カワプティ山)、Floating Market(水上マーケット)、Situ Patenggang Lake(パテンガン湖)など。是非バンドンにお越しください!
- ⑧ インドネシアの“Fried Rice”(ナシゴレン)
- ⑨ 仕事において協力し合う(インドネシア語で“Gotong Royong”)文化とおもてなしの文化
- ⑩ I'm really grateful to be a part of Suminoe group. I hope that our cooperation with other Suminoe group will keep going well. Let's growing together with Suminoe!
住江グループの一員になれて非常に光栄です。これからも住江グループとうまく協力し合っていきたいです。Suminoeと共に成長しましょう!

お取引先様とともに/リスクマネジメント

事業活動にあたり公正かつ自由な競争の維持・促進を努めること、購買業務において法令を遵守することを「住江織物グループ企業行動基準」で定めております。また、リスクマネジメントを重視した経営を行っており、2017年度は国内事業所のリスクアセスメント、海外子会社のリスク、知的財産権などに関する活動を行ってまいりました。

お取引先様とともに

公正な取引(下請法遵守に関わる活動)

当社グループでは、「よい製品を生産し、販売し、社業の隆盛をはかり社会の向上に貢献する」ことを目的としております。この目的を達成するために、〈お取引先様との信頼関係の深化〉を非常に重要なものとして位置づけております。特に、下請法を厳守し、下請取引の適正かつ円滑な運営を図るための諸施策に、継続して取り組んでおります。

一例をご紹介しますと、教育・啓発施策として、下請法違反行為の未然防止や従業員の下請法に関する意識

向上を図るために、CSR推進室法務グループによる「下請法研修」を実施しております。研修では、参加者からの事前質問に対する回答を盛り込むなど、参加者の理解度向上に努めております。2017年度は、3事業所で実施し、延べ13部署58名が参加いたしました。

以上の施策を含め、関連法令等の周知徹底などを今後も継続的に実施し、お取引先様とのより一層の関係強化を目指してまいります。

リスクマネジメント

事業継続計画(BCP※1)の進捗

当社グループでは以前より、災害発生時に企業としての信頼の継続のためには、お客様への迅速で正確な情報発信をキーとして捉え、安否・被災状況などの情報収集を重視したBCP行動計画の策定に取り組んでまいりました。住江織物(株)本社ビルでは、社内緊急連絡ルールに従って社員の安否を確認する「BCP安否確認訓練」を継続して実施し、緊急事態発生時の動作の確認を特に重視しております。

2018年6月に発生した大阪北部地震発生時には、これまでに定めている訓練通りの安否確認方法が機能し、対策本部にて社員全員の安否を速やかに確認することができました。

※1 BCP: Business Continuity Planningの略称で、災害や事故等の緊急事態が発生した際に事業の継続や復旧が速やかに行えるよう策定される計画。

今後は、安否確認訓練をグループ全体に展開し、緊急事態発生時の会社指示の伝達方法と、より確実な安否確認ルールを確立してまいります。



対策本部

知的財産権の取り組み

知的財産には特許、実用新案、意匠、商標などがあります。事業を継続的に展開するには、事業計画の基に企画、営業、研究開発、製造が連携し知的財産を権利化すること、そして他社の知的財産を把握し対応することが必要です。これら二つの観点から知的財産のリスクマネジメントに取り組んでおります。

具体的には、社内イントラネット上に「知的財産NEWS」

を発行し、特許出願(発明内容の整理)、商標の類否、特許情報(公報と実施内容の比較)、不正競争防止法などの知的財産教育を行っております。また定期開催している技術会議(奈良・大阪)で、関連特許の紹介や知的財産に関する事柄を紹介しております。

今後も事業分野に係る特許出願・権利化を推進することで、事業を守り競争優位に立つべく推進してまいります。

国内事業所のリスク管理

国内事業所のリスクマネジメントについては住江織物(株)およびグループ会社より提出されたリスクに基づき財務諸表の重要な虚偽表示のリスクを中心として把握を進め、そのリスク評価を財務統制委員会にて検討し、経営

会議でも認識しております。国内事業所においては内部統制の運用において、一定レベルまでリスク軽減はできてきておりますが、今後はIT化を推進し各リスクを軽減する体制を確立させてまいります。

海外子会社のリスク管理

リスクマネジメント(以下、RM)について、活発な活動を継続しているSPM(中国)と今期から取り組みを開始したSST(インドネシア)の活動状況をご紹介します。

SPM(中国): モデルケースとして着手し、RM構築手法を確立し5年目

過去4年間「火災対応」「人材流出の防止」「原価低減」「仕入先管理強化」をテーマとし取り組んでまいりましたが、2017年10月にコンプライアンス徹底のための中長期プランの内部統制再構築の1つとして外部監査法人による監査強化を行った結果、様々な指摘事項を受け内部統制の脆弱な部分が明確となりました。2017年度はその指摘事項をリスクと捉え「企業管理改善および企業リスク回避」を目標とし、指摘事項に対応すべく業務改善に着手いたしました。指摘事項を優先度と難易度で区分し、進捗を毎月RM委員会にて確認し、優先度の高いものおよび容易に着手できるものから取り組み、改善を進めております。



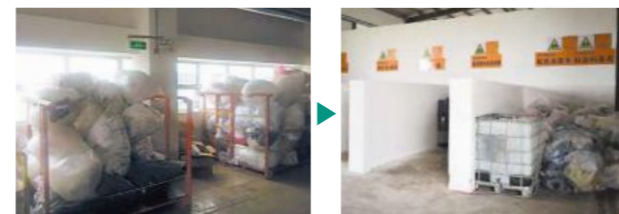
現地往査時の様子

● 産業廃棄物の専用置場確保



改善前

改善後



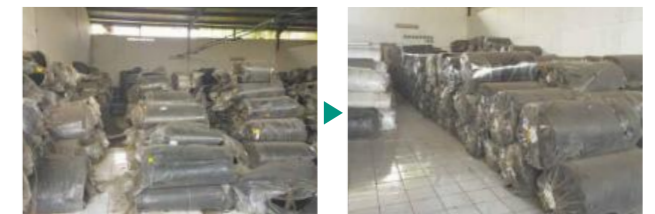
改善前

改善後

SST(インドネシア): RM導入初年度

住江織物(株)情報管理部主導のもと、5ヵ月間の外部機関による生産革新支援が実施され、その後の状況を現地往査にて評価いたしました。一部乱雑だった自社工場内の状況は改善されましたが、外部倉庫の管理が不十分で棚卸差異の発生原因になっていると判断し、バーコード&ハンディターミナルを使用した棚卸システムの導入手法を提案し実施いたしました。今後はQRコード化および入出庫管理へと展開していく予定です。

● 外部倉庫内の整頓



改善前

改善後

● バーコードを用いた管理



このように、高リスクの領域を対象に効果的かつ効率的な現地往査を実施し、監査視点によるモニタリングも併せて行うことにより、海外子会社のRM強化を図ってまいります。